

グループ名 ・代表者名	福島の子どもたちを守る会北海道 矢内幸子 (さっぽろ市民放射能測定所 はかーる・さっぽろ)	助成金額	50万円
連絡先など	hakarusapporo@seagreen.ocn.ne.jp		
助成のテーマ	北海道における食品の放射能汚染状況の測定と分析について		

【調査研究の概要】

- ・AT1320A を購入し、食品と土壌の測定を行った。
- ・利用者の依頼で行った北海道各地の有機 JAS 認証の農産物 35 検体及び慣行農法の農産物について（いずれも 103 時間測定）はすべて ND だった。
- ・北海道産の魚介類については数点からセシウム 137 及びセシウム 134 が検出された。
- ・福島県産を含む廃プラスチックを利用した発電施設の周辺の土壌の定点測定を行いデータにまとめた。

【調査研究の経過】

- ・2012年5月7日 NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメーター ATOMTEX AT1320A購入設置
- ・5月20日 キックオフ集会 CRMS岩田渉さん講演会
- ・5月22日 市民からの食品の放射能測定業務開始
- ・6月19日 苫小牧市廃プラスチック発電工場周辺の土壌測定 12地点採取・測定。1地点から通常より高いセシウム137が検出された。
- ・2013年5月15日現在
測定検体数253（依頼測定149 測定所独自の試験測定104）



【今後の展望など】

- ・市民からの依頼測定のほか自主測定として、北海道産の魚介類の測定を継続的に行いたい。
- ・2013年6月12日に、苫小牧市廃プラスチック発電工場周辺の土壌測定12地点採取・測定。2012年に高いセシウム濃度を示した同じ地点で採取した土壌から2012年度よりさらに高いセシウムが検出され、ゲルマでクロスチェックしたところ、福島由来と考えられるセシウム137、セシウム134が検出された。原因の調査を進めるため、研究者の助言を仰ぎながら検証手法を探ってゆきたい。

会計報告書の概要（金額単位：千円）			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	先行市民測定所の見学	68			68
機材・備品費	AT1320A 電子天秤 マリネリ容器等	2,084	500	300	1,284
会議費	学習会、講演会、検討会会場費	21			21
印刷費	リーフレット、ニュースレター、集会チラシ等	40			40
協力者謝礼など	学習会・講演会講師謝礼ほか	100			100
その他	検体購入費、通信費ほか	354			354
合 計		2,667	500	300	1,867

参考文献（ウェブサイトや書籍、成果物など） ありません。

北海道も汚れている？

- * 福島の子どもたちを守る会北海道
- * 子どもたちの長期保養活動を目的とした任意団体としてスタート。2011年の夏を過ぎるころから、インターネット上で北海道の汚染を危惧する声が高まりはじめた。
- * 学校給食問題
 - * 札幌市の学校給食は・・・
 - * 遺伝子組み換えの食品は使わない
 - * 洗剤はすべて石けんを使用
 - * 地産地消を目指し、加工食品の利用が少ない
 - * 地場で調達できない食材は関東東北から調達

1

2013/6/27

誰が利用しているの？

会員数 およそ250名(賛同会員も多い)

利用会員は年間延べ120人ほど

個人利用：幼いお子さんと暮らすご家族、

福島原発事故によって北海道に避難してきた方たち
家庭菜園 関東東北に関連のある方(緑故米など)

法人利用：有機農家さん、漁師さん、有機農産物専門農協、
オーガニックの食品関連、レストラン、ケーキショップ等

4

2013/6/27

情報公開を市民の手で

- * さっぽろ市民放射能測定所はかーる・さっぽろ
- * 福島の子どもを守る会北海道の
食品の放射能濃度を測定する部門として発足
- * 2012年5月開所
- * 市民からの寄付・会費・借入金で測定機を購入
- * 活動の目的・・・子どもを放射能から守ろう・・・
- * ①最良の判断をするためのデータの公開
- * ②将来的に必要なデータを残す
- * 100年続けるべき事業

2

2013/6/27

北海道有機農協検査結果

検査日	品名	生産地	20	11月 6日	タマネギ	長沼町
1	9月 5日	トウモロコシ	20	11月 2日	ナス	岩見沢市
2	9月 6日	トウモロコシ	21	11月 8日	カボチャ	岩見沢市
3	9月 6日	トウモロコシ	22	11月 8日	カボチャ	岩見沢市
4	9月12日	トウモロコシ	23	11月 8日	宝珠院入飯	新谷町
5	9月15日	トウモロコシ	24	11月10日	ヤーコン	安平町
6	9月20日	ミニカボチャ	25	11月10日	紫タマネギ	新篠津村
7	9月20日	トウモロコシ	26	11月10日	ジャガイモ	真狩村
8	9月20日	ピーマン	27	11月16日	玄米	美川町
9	10月11日	キュウリ	28	11月17日	ジャガイモ	上富良野町
10	10月11日	ミニトマト	29	11月16日	玄米	深川市
11	10月11日	ミニトマト	30	11月21日	カボチャ	喜茂別町
12	10月18日	パワーストーン	31	11月28日	カボチャ	岩見沢市
13	10月18日	ナガネギ	32	11月30日	カボチャ	上富良野市
14	10月19日	ナガネギ	33	11月30日	赤ピー	石狩市
15	11月 2日	コマツナ	34	12月18日	ダイズ	新篠津村
16	11月 2日	ホウレンソウ	35	12月19日	ニンニク	赤井川村
17	11月 2日	ダイコン	36	12月20日	玄米	南幌町
18	11月 5日	ニンジン				
19	11月 5日	ジャガイモ				

5

2013/6/27

さっぽろ市民放射能測定所 はかーる・さっぽろ



札幌市豊平区西岡4条10丁目7-2
西岡コミュニティ&カフェBallo内

運営委員12名 測定スタッフ9人 30~60代
無給のボランティアスタッフ(交通費もなし)

3

道内の食品の汚染状況

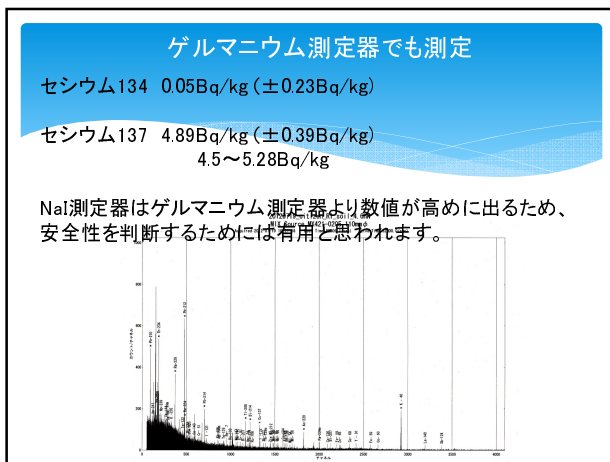
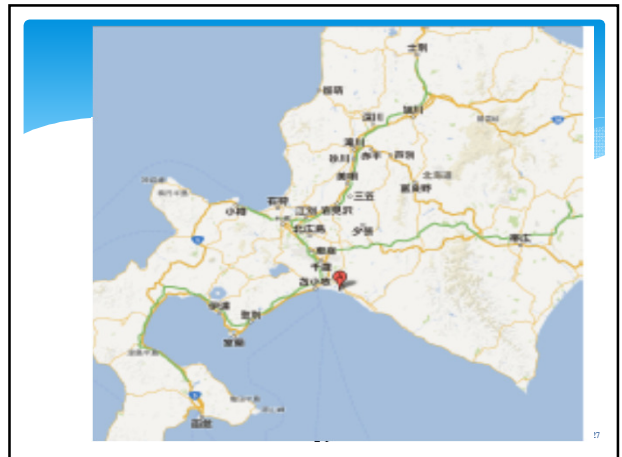
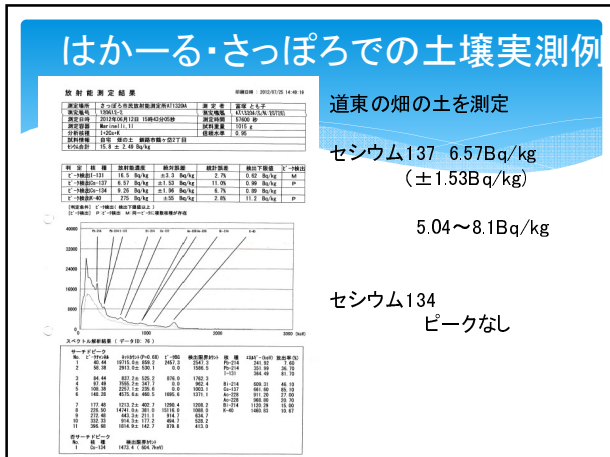
* 北海道の陸上の農産物・畜産物について
今のところは安心なレベル

しかし・・・

- * 全国流通の食品 特に加工品
- * 冬場の野菜類 (関東・東北近辺)
- * 水産物
- * 今後の農業資材

6

2013/6/27



- ### 苫小牧kポイント
- * 2012年度 セシウム137 42.1 ± 8.4 Bq/kg
セシウム134 36.0 ± 7.2
 - * 2013年度 セシウム137 86.1 ± 17.2
セシウム134 55.3 ± 11.2
(セシウム134についてはビスマス214の影響あり)
 - * 2013年度のサンプルをゲルマでチェック
 - * セシウム137 80.68 ± 8.46
 - * セシウム134 37.65 ± 6.26
 - * サンプルの処理法の違いなどの問題はあるが、定点観測を続け、専門家の協力を仰いで原因を究明したい。

苫小牧で廃プラスチックを燃やしている！

- * 苫小牧市 王子製紙とサニックスエナジーが廃プラスチックを燃やして発電していたことが報道された。
- * 「2011年4月から2012年5月まで、福島や東北各県のものを含んだ廃プラスチック1万7000トンを燃やしていた。廃プラスチックは燃料なので、放射能濃度の規制はおこなわれていない」
- * (北海道新聞 2012年6月15日 ニュース虫眼鏡)

- ### 今後の課題
1. 稚内では、空間線量の急激な上昇が報告されることがあり、その原因については、福島第一もしくは中国等近隣諸国の影響などが疑われるが、推測の域を出ない。降下物の動向に注目したい。
 2. 苫小牧土壌PJの継続と原因の究明を進める。
 3. 農業資材を含めた農産物の測定を進める。
 4. 北海道産の魚介・海産物の測定PJを進める。
 5. より精度の高い測定と情報の開示を進める。